

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「人工知能」

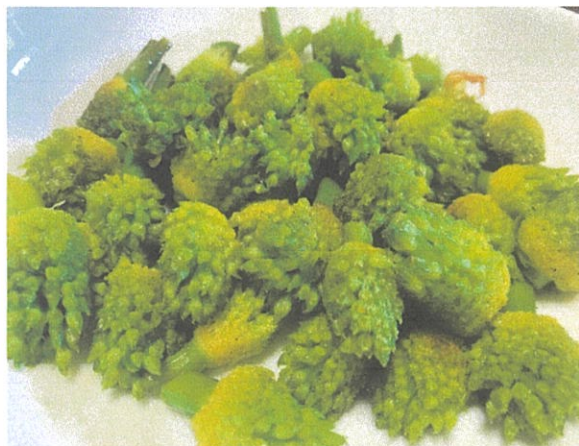
ドローンなど、AI(人工知能)が身近になってきたのですね。若手農業者のKさんが、「畑でドローンの操作があるので見てきます」。ドローンで何を…?。後日、話を聞いたら、「液肥をかけるんです。人手より、むらなく正確にかけられるんです。セットして手元で操作していれば…。無人のトラクターもあるんですよ。すごく高い価格ですけど」と。えーそうなんですね。これからの戦争は、兵隊さんはいらない…って、聞いているけどそれと同じ?。「そうです。元々軍事開発されたものですから」。頭脳をつかうのね。「これからは、土にアミノ酸をやる時代ですよ、病気に強い土壌にして、農薬をへらすために」。人の免疫療法みたいに?。「そうです。農業も情報戦です…頑張ります」。頼もしい…がんばってね。

今、目の前の田んぼを大型トラクターが、リズムよく動いている。子供のころは黒い牛が働いていた。それから耕運機になって…60年の進歩はすごい。生きているうちに、無人トラクターが動くのを見たい…ここで。

×ジャパンの曲を流していたら、「今日は、クラシックじゃないんですね?」と聞かれて、はい…今日は、ロックの心境です。(うふふ…)「私は、若い時エレクトーンをやって…今、ピアノを習って…。『アランフェス協奏曲』が、大好きなんです。仙台のコンサートで、鳥肌が立つほど感動して…。オリンピックのスケートで、ロシアの選手が、この曲で滑ったんですよ…」と、懐かしそうに。がんばってきた男らしい手を動かしながら、「もう…指送りがむずかしい…」と。年齢を聞いたら二つ先輩のお客さま。こだわりの黒じゅうねんを作り、油をしぼってもらっている…とも。お仕事とピアノ…ロマンいっぱいまだまだ…がんばれますね。

今年のうちの桜の開花は、3月31日…異常だなあ…と思いながらながめていたら、バハッバハッと聞こえ、顔にうちわのような風、カラスが3メートル位のところ飛んで行った。カラスの風を受けたのは初めて…。和歌山県の「熊野速玉大社」は、カラスが神様の使者として、黒い鳥の絵がいっぱいあります。なので…神様の魔除けの風をうけたかと…?(フンでなくてよかった)(笑)気候も…コロナウイルスも…地球のしくみ、おだやかに過ぎ去ってほしいですね。

満開の桜の中の観音堂
みほとけ仰ぎ安産祈る (2021・4・4)



ネギ坊主…オリーブ油炒め塩コショウ